

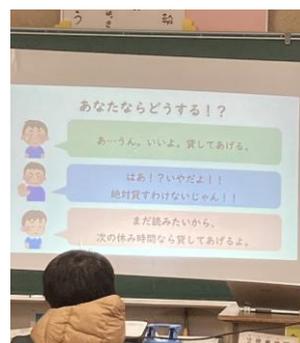
「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書

春日井市立中央台小学校

<p>テーマ</p>	<p>自己肯定感を高め力強く生きていく「いちょうっ子」の育成</p>
<p>取組の目的</p>	<p>本校の児童は、以前は自己肯定感が市平均を下回っていたが、令和4年度からの継続的な取り組みにより、現在は市平均を上回り、その成果も維持されている。学習面での達成感の醸成や、人間関係における存在意義の向上に注力した成果と言える。一方で、依然として課題を抱える児童も存在する。「自己肯定感を高め力強く生きていく『いちょうっ子』の育成」を掲げ、授業改善や支援体制、地域・保護者との環境づくりを一層推進し、課題解決を図る。</p>
<p>事業名</p>	<p>事業内容</p>
<p>1 「できた」「わかった」がより感じることができる授業づくり</p> <p>2 一人ひとりが輝くことができる行事づくり</p> <p>3 子どもたちを支える環境づくり</p>	<p>・一人一台端末を使った「個別最適な学び」「協同的な学び」への授業改善（5月、9月、2月）</p> <p>・「自ら学び続ける児童の育成」のための学習環境の構築（授業の視点を書くホワイトボード購入）</p> <p>・県外先進校の視察（2月） 富山市立芝園小学校、信濃町立信濃小中学校</p> <p>・ソーシャルスキルトレーニング研修「ストレスマネジメント教育」（10月）</p> <p>・学校保健委員会「大切な自分・大切な友達～赤ちゃん先生と命について考える～」（11月）</p> <p>・ドリームマップ（6年生）の実施（1月）</p> <p>・講演「子どもの自己肯定感について」（7月）</p> <p>・講演「特別な教育的ニーズのある児童と、多様な児童が在籍する学級集団への支援」（3月）</p>
<p>1. 「できた」「わかった」がより感じることができる授業づくり</p> <p>これまでの「教えられる」授業から、子どもたちが「自ら学ぶ」授業へと形を変えています。現在は、お子さん一人ひとりの学習の進み具合や得意な学び方（一人で集中する、友達と話し合うなど）を教職員が丁寧に見極め、それぞれに最適なサポートができる体制づくりを強化しています。</p> <p>また、教職員が県外の先進的な学校を実際に視察し、そこで学んだ優れた授業スタイルや環境づくりを持ち帰りました。視察の成果は「すぐに教室で試せること」と「次年度から本格的に導入すること」に整理し、常に新しい視点を取り入れた教育を実践しています。</p>	 <p>どこを見てもきちんと整頓されている。きっと整頓されていることが「当たり前」になっている</p> <p>国語辞典は自分のものを!</p> <p>教室の隅に「学習スペース」が! 協働学習だけでなく、いろいろな用途で使えそう!! しかもおしやれてました!</p>

2. 一人ひとりが輝くことができる行事づくり

専門チームを立ち上げ、全学年で「ストレスとの上手な付き合い方」を学ぶソーシャルスキルトレーニング(SST)を実施しました。ICT(Google Meet)を活用して、校長室から全クラスに配信し、嫌なことや不安があったときに、自分の力でどう対処すればよいかという「心の選択肢」を広げる練習を全校で行っています。



大学の先生に来ていただき、職員にアドバイス等をいただく研修の機会もあります。今年度を積み重ねて、来年度に生かしていきます。

3. 子どもたちを支える環境づくり

大学教授などの専門家をお招きし、最新の知見を学びました。その成果として、

- ・結果ではなく、過程を重視し、努力している点やうまくいっている点を認める。
- ・できなかったところは、どうやったらうまくいくのか一緒に考える。
- ・一人ひとりの特性に合わせた支援を行うという意識が、職員全員の共通認識として根付きつつあります。



～令和7年度 意識調査の結果とこれからの取り組み～

本校では、令和4年度から『自己肯定感を高め力強く生きていく「いちようっ子」の育成』をテーマに、子どもたちが自分を大切に思い、自信をもって生活できるよう取り組んでまいりました。このたび実施した学校評価アンケートでは、大変嬉しい結果が得られました。

■ 今年度の成果：全項目で過去最高の「自己肯定感」に！

今回の調査では、「自己肯定感」に関するすべての質問で、過去3年間で最も高い数値を記録しました。

◎学習への自信がアップ

「タブレットを使って自分の考えをまとめられる(92%)」、「教科書をすらすら読める(94%)」といった、日々の「わかった!できた!」という実感が、「自分に自信がある(85%)」という強い心に繋がっています。

◎自分を大切にしている心が育っています

専門家を招いた授業改善や、6年生でのドリームマップ実施などの効果もあり、「自分のことが好き(92%)」「自分は大切な存在だと思う(94%)」と答えるお子さんが着実に増えています。

■ 来年度の取り組み：安心して「自分」を表現できる学校へ

高まった自己肯定感を土台に、来年度は以下の2点に力を注ぎます。

○「間違えても大丈夫」と思える学級づくり

失敗を恐れず、安心して自分の意見を言える雰囲気さをさらに深め、発表や説明をする力を伸ばします。

○頑張りを認め、励ます支援

「進んで取り組む姿」や「友達への優しい行動」を学校全体でポジティブに認め、支えていくことで、一人ひとりの揺るぎない自信へと繋がります。

これからも、保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせ、子どもたちが自分らしく輝ける環境をつくってまいります。引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。